



湾曲した太い梁組が特徴的な明治建築

清水家住宅 主屋、納屋、土蔵、門及び井戸覆屋



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	しみずけじゅうたく おもや なや どぞう もんおよびいどおおいや
所在地	津山市河辺
指定年月日	平成21年4月28日
解説	清水家住宅は、明治後期には米穀商を営んでいたと伝えられる。「主屋」は明治30年代の建築と伝えられ、吹き抜け天井の梁組は、湾曲した太い丸太材を格子状に組んでおり、見応えがある。「土蔵」は装飾を抑えた質実な意匠である。井戸覆屋南寄りに「明治四十年四月」の刻銘のある八角形の凝灰岩製井戸がある。母屋以外の建造物は明治後期の建築と推定される。
アクセス方法	中国自動車道津山ICから徒歩約5分 / JR東津山駅から車で約5分
公開状況	見学可。無料。留守の場合があるため事前に連絡が必要。[電話番号]0868-26-0467
設備	駐車場は普通車10～15台駐車可。マイクロバス可。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> トイレ  駐車場  </div>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	清水家住宅 主屋、納屋、土蔵、門及び井戸覆屋
よみかた	しみずけじゅうたく おもや なや どぞう もんおよびいどおおいや
しょざいち (所在地)	津山市河辺
していしたひ (指定した日)	平成21年4月28日
せつめい	清水家住宅は、明治時代(めいじじだい)の中ごろからおわりごろにかけて建(た)てられたと言われています。かつては米屋(こめや)だったと言われています。主屋(おもや)の天じょうには、太くてきれいに曲(ま)がっている丸太(まるた)で屋根(やね)を支(ささ)えているのが大きな特徴(とくちょう)です。